“農地・水・環境保全”
水土里のネットワーク通信

第98号
2015. 12. 1発行
島根県農地･水･環境保全協議会

多面的機能支払交付金事務研究会及び日本グラウンドワーク協会設立20周年記念セミナー参加

１０月９日（金）に東京都文京区　東京大学弥生講堂を会場に農林水産省主催の「多面的機能支払交付金事例研究会」、同日午後からは（一財）日本グラウンドワーク主催の日本グランドワーク協会設立２０周年記念セミナーが開催され参加しました。

研究会は、農村振興局整備部農地整備課長挨拶の後、福井県、鹿児島県、滋賀県の管理協定及び活動組織からの活動事例と北海道の推進組織からは本交付金に係る新たな支援ツールの構築についての発表がありました。その後、会場内参加者との意見交換会が設けられ、発表についての質問など情報交換がありました。活動組織のひとつは、土地改良区として地元の施設を守る役割と一方で地元住民の自分たちで自然環境や施設を守っていこうとする強い意思が一致したことで相互の協力体制がより強固なものになり、明確な目的が生まれたことが本対策に取り組む基盤となり継続的な活動につながっているようです。

引き続き午後からは、日本グラウンドワークの記念セミナー「住民・企業・行政のパートナーシップによる地域再生に向けて」が行なわれ、イギリスから２名の講師、農林水産省農村振興局長による基調講演、事例報告がありました。パネルディスカッションでは、現役女子大生を含む５名のパネラーの活動報告とグラウンドワークや多面的機能支払の共同活動の展開方向について話題提供や活発な討論が行なわれました。

各 NPO 法人グラウンドワークと多面的機能支払の活動組織の活動はそれぞれの環境に即した方法で企業の参画や大学生など若い力を取り込むことにより地域が活性化されているようです。

このような法人や活動組織に成長するには地域をまとめ上げる情熱と理念を持った人材、行動力とボランティア意識があるスタッフが必要不可欠だと感じた研究会及びセミナーとなりました。

協議会事務局

活動事例紹介

名垣（みょうがき）を守ろう！

知夫の牧畑資源・環境を守り隊（知夫村）

事前学習会

知夫村では、１９７０年頃まで島の土地の大部分を４つに区切り放牧と３種類の作物栽培を４サイクルのローテンションで行う「牧畑」という農法が行われていました。

隠岐で発達したこの独特な農法は、急峻地で表土に乏しく痩せた土地を有効的に活用するため、何百年も前から行われていたものです。

赤ハゲ山に残る石垣（名垣（みょうがき））は、この「牧畑」の牧（土地）を区切る役割を果たしていたものです。

自然の石を使い、地形に合わせて積み上げられた「名垣」は歴史的遺産として村の文化財に指定されており、また隠岐世界ジオパークのマップにも紹介されています。現在では、放牧地の境界として使用されていますが、赤ハゲ山と放牧牛、名垣、その後ろに広がる日本海は、知夫村独自の農村風景となっています。

私たち活動組織では、５月に知夫村教育委員会と連携して「名垣、牧畑の歴史、文化」などの学習研修会、及び風雨により少しずつ崩れてくる名垣の補修活動を行いました。

研修では、知夫村小学校５、６年生　中学年、一般の方を対象に役場で事前学習し、現地に出かけて名垣の崩れた箇所の積み直しを行い、実際に牧畑を行っていた地元の方からお話を聞かせていただきました。

こうした活動により、次世代を担う子供たちに知夫村の農村風景を作り出す「名垣」を伝え残して行こうと考えています。

名垣の積み直し補修

「機能診断・水路補修技術研修会」アンケート結果について

１０月２０日、２１日の「機能診断・水路補修技術研修会」のアンケートには２６４名の方から回答をいただきました。

◆座学研修の内容

分かりやすかった	９６％
難しかった	０％
難しいが参考になった	４％

◆実習について

参考になったった	９５％
参考にならなかった	１％
どちらともいえない	３％
無回答	１％

◆水路補修の自主施工について（重複回答あり）

実施したことがある	６３％
実施したことがない	２７％
今後予定している	１３％
無回答	１０％

◆水路補修で使用した資材、予定している資材（重複回答あり）

モルタル	８６％
コーキング材	５４％
止水テープ	６％
重機	２７％
その他	１％

◆自主施工後の結果

良好	６７％
一部不良	３０％
不良	３％

◆自主施工なしの理由（重複回答あり）

補修箇所なし	３０％
人手不足	３４％
機材がない	２２％
無回答	１４％

また「実技があって大変良かった。」「近日中に補修を予定しているので参考になった。」「機能診断の記録をとっておくことが大切だと思った。」等沢山のご意見や感想をいただきました。今後の研修としては、鳥獣害対策、施設の機能診断が多く希望されていました。

協議会では、皆さんのご意見をこれからの研修に役立てていきたいと思います。ご協力ありがとうございました。

ようこそ相談室へ

資源向上支払交付金（共同活動）を活用した農用地の補修について

Q　田面の沈下に伴う客土や湧水処理のための暗渠工は、活動の対象となりますか？

A　資源向上支払交付金（共同活動）の**「きめ細やかな遊休農地発生防止のための保全管理」として実施**できます。遊休農地の発生を抑制するため、**経年変化等で沈下が生じている田面への客土・不陸整正**を行います。また、湧水処理するため、**溝切り・落水工・湧水処理暗渠等**を設置し、農地を適切に維持保全します。

Q　その他に資源向上（共同活動）の農用地補修にはどのような活動がありますか？

A　**農用地法面の補修・補強、畦畔の再構築、農用地進入路の修繕・機能回復、鳥獣害防護柵の補修・設置**、さらに「きめ細やかな雑草対策」として**カバープランツ・抑草ネット等の設置**などの活動があります。

活動組織の皆さんへ

先日、県内の活動組織で、水路を覆う枝の伐採中に足を滑らせての傷害事故が発生しました。
■活動作業は、安全が第一です。万全な注意を払って活動を行いましょう。
■事前に傷害保険等に加入しておきましょう。
■活動中に事故が発生したら、一報を市町村へ報告しましょう。

★今月の予定★

２１日（月）	平成２７年度事務実務研修会（益田市）
２２日（火）	平成２７年度事務実務研修会（大田市）
２４日（木）	平成２７年度事務実務研修会（松江市、雲南市）

ちょっと一息 おたよりコーナー

頼りにしてます！！
本谷中農地水保全組合（雲南市）

重機操作もお手のもの

私たち本谷中農地水保全組合では、約10ha の農用地を対象に農地維持・資源向上（共同・長寿命化）の活動に取り組んでいます。

今年度長寿命化の活動で、農道のコンクリート舗装を10月の下旬に3日間で50m自主施工しました。工務店を退職された方が中心となり、その道のプロだった方等が6名が集まり、スムーズに工事が出来ました。60代から70代の皆さんですが本当に頼りになります。以前の農道は、ワダチの間が高くなってしまい、農耕車の通行に支障を来していました。地元の方からは、「これで通るのが楽になったわぁ～」と大変喜ばれています。

コンクリート敷も慣れた手つきで

活動お疲れ様でした。これからも皆さんの経験を活かして頑張ってください。

活動事例募集中！

あなたの組織の活動をネットワーク通信で紹介してみませんか。組織の紹介でも構いません。
「原稿を書くのはどうも・・・」と思われれば、お話を伺ってこちらで記事をまとめます。
「ウチの活動を紹介してみよう」と思われる方は、まずはお気軽にお電話ください。
TEL（0852）32-4141、メール shigenhozen@shimanedoren.or.jp
水土里ネット島根「ネットワーク通信」係まで

～担当者の声～

例年より二十日遅れの霊峰大山の初冠雪もつかの間、一気の冬到来に田んぼに飛来する白鳥の雄姿も様になってきた。この次期の田んぼは妙に静かで、、、、。今期の農作業大変お疲れ様でした、ゆっくりと疲れを癒して来期に期待しましょう。

とは言っても活動組織事務局の皆様にとってはこれからが本番、本当にご苦労様です。多くの組織で当初より事務局の交代がありません、後継者が出来るといいですね。（協議会　Ｙ）

～多面的機能支払交付金に関することは～

◆島根県農地・水・環境保全協議会
〔事務局〕水土里ネット島根
Tel 0852-32-4141　Fax 0852-24-0848
http://www.nouchimizu-shimane.jp

◆島根県農林水産部農村整備課資源保全スタッフ　Tel 0852-22-6262
http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/nougyo/kojo_taisaku/
◆又は最寄りの各市町村担当課までお問合わせ下さい。

大井福富大海崎地区環境保全会（松江市）